こぞうさんの　おきょう

新美南吉

やまでらの　おしょうさんが　びょうきに　なりました。
したので、かわりに　こぞうさんが　だんかへ　おきょうを　よみに　いきました。
おきょうを　わすれないように、こぞうさんは　みちみち　よんで　いきました。

キミヨ
ムリヨ
ジユノ
ライ

するとなたねばたけの　なかに　うさぎが　いて、
「こぼうず　あおぼうず。」
と　よびました。
「なんだい。」
「あそんで　おいきよ。」
そこで、こぞうさんは　うさぎと　あそびました。
しばらく　すると、
「やっ　しまった。おきょうを　わすれちゃった。」
と　こぞうさんが　さけびました。
すると　うさぎは、
「そんなら　おきょうの　かわりに、

むこうの　ほそみち
ぼたんが　さいた

と　おうたいよ。」
と　おしえました。

こぞうさんは　だんかへ　いきました。そして、うさぎの　おしえて　くれたように、ほとけさまの　まえで、

むこうの　ほそみち

ぼたんが　さいた
さいた　さいた
ぼたんが　さいた

と　かわいい　こえで　うたいました。

きいて　いた　ひとびとは　びっくり　して　目をぱちくり　させました。それから　くすくす　わらいだしました。こんな　かわいい　おきようは　きいたことが　ありません。

そこで、ごほうじが　すむと、だんかの　ごしゅじんは　すました　かおで、

「はい、ごくろうさま。」
と、おまんじゅうを　こぞうさんに　あげました。
「ごちそうさま。」
と　こぞうさんは　おまんじゅうを　いただいて　たもとに　いれました。
　こぞうさんは、かえりに　その　おまんじゅうを、さっきの　うさぎに　わけて　やる　ことを　わすれませんでした。

底本：「ごんぎつね　新美南吉童話作品集1」てのり文庫、大日本図書
1988（昭和63）年7月8日第1刷発行
底本の親本：「校定　新美南吉全集」大日本図書
入力：めいこ
校正：鈴木厚司、もりみつじゅんじ
2003年9月29日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんで

す。